

平成26年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社IGポート

コード番号 3791 URL <http://www.igport.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石川光久

問合せ先責任者 (役職名) 管理担当執行役員 (氏名) 中野広之

TEL 0422-53-0257

四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年5月期第2四半期の連結業績(平成25年6月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年5月期第2四半期	3,403	15.4	210	—	206	—	161	—
25年5月期第2四半期	2,949	25.6	△44	—	△43	—	△71	—

(注) 包括利益 26年5月期第2四半期 73百万円 (—%) 25年5月期第2四半期 △74百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年5月期第2四半期	33.60	33.05
25年5月期第2四半期	△15.00	—

(注) 当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年5月期第2四半期	7,765	4,433	57.0
25年5月期	7,759	4,321	54.5

(参考) 自己資本 26年5月期第2四半期 4,425百万円 25年5月期 4,230百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年5月期	—	0.00	—	200.00	200.00
26年5月期	—	0.00	—	—	—
26年5月期(予想)	—	—	—	2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。平成26年5月期の配当金(予想)は、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成26年5月期の連結業績予想(平成25年6月1日～平成26年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,604	0.1	396	97.0	399	66.0	283	120.6	58.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。1株当たり当期純利益については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年5月期2Q	4,946,200 株	25年5月期	4,895,200 株
② 期末自己株式数	26年5月期2Q	120,400 株	25年5月期	120,400 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年5月期2Q	4,802,718 株	25年5月期2Q	4,774,800 株

(注)当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、普通株式1株を100株に分割し、1単元を100株とする単元株制度を採用しております。上記の株式数は、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行なわれたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により発行済株式数が51,000株増加しております。業績予想における1株当たり当期純利益は、当該増加株式数を反映して算出しております。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や金融緩和策等により、円高の是正や株価が上昇し、輸出産業を中心とする企業収益の持ち直し等、景気回復の兆しが見られました。一方、米国や欧州の一部の国に緩やかな景気回復が見られるものの、米国では債務上限引き上げの期限や欧州での債務問題、新興国の経済成長の鈍化等、先行きに懸念材料を残す状況にあります。

このような事業環境のもと、当社グループはアニメーション作品の企画・制作を行う映像制作事業、コミック雑誌等の企画、製造、販売及び電子コミックスで課金を行う出版事業、作品の二次利用による印税・収益分配金等を得る著作権事業に取り組んでまいりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,403,799千円(前年同期比15.4%増)、経常利益は206,253千円(前年同期は43,696千円の経常損失)、四半期純利益は161,379千円(前年同期は71,615千円の四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 映像制作事業

映像制作事業におきましては、テレビ用アニメーション「進撃の巨人」「げんしけん二代目」「黒子のバスケ第2期」「宇宙戦艦ヤマト2199」「翠星のガルガンティア」等、ビデオ用アニメーション「攻殻機動隊ARISE」「To LOVEる-とらぶる-ダークネス バンドル版」「進撃の巨人」「よんでますよ、アザゼルさん イソギンチャク編」、その他ゲーム用・CM用のアニメーションを制作いたしました。

以上により、当事業の売上高は2,011,439千円(前年同期比10.6%増)、セグメント利益は139,649千円(前年同期比160.3%増)となりました。

② 出版事業

出版事業におきましては、新刊は、月刊誌「コミックブレイド」「コミックアヴァルス」、コミックス「あまんちゅ!」7巻、書籍「宇宙戦艦ヤマト2199 設定資料集 EARTH編」等、定期月刊誌12点並びに新刊コミックス66点を刊行しました。また、既刊の「曇天に笑う」は、特に販売好調でありました。

なお、ウェブ雑誌であるEDEN及びケータイサイトで連載された作品のコミックスの刊行は14点となり、ケータイ配信を含む有料課金での電子配信を26作品追加しており、合計248作品となっています。

以上により、当事業の売上高は526,476千円(前年同期比6.9%増)、セグメント損失は36,628千円(前年同期は73,851千円のセグメント損失)となりました。

③ 著作権事業

著作権事業におきましては、「宇宙戦艦ヤマト2199」「進撃の巨人」「翠星のガルガンティア」「PSYCHO-PASS サイコパス」「攻殻機動隊ARISE」及び「攻殻機動隊シリーズ」「黒子のバスケシリーズ」等の二次利用による収益分配を計上しました。特に「宇宙戦艦ヤマト2199」「進撃の巨人」は、ブルーレイディスク・DVDの販売及び配信は好調に推移し、また、大型作品への出資による映像マスターの減価償却が終わり、当事業の費用負担が減っております。

以上により、当事業の売上高は726,124千円(前年同期比39.1%増)、セグメント利益は145,463千円(前年同期比1,421.9%増)となりました。

④ その他事業

その他事業につきましては、雑誌のイラストやキャラクターの商品化、ゲームや iPhone/iPod Touch 向けアプリ等により、当事業の売上高は139,758千円(前年同期比19.7%増)、セグメント利益は10,114千円(前年同期比30.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ5,173千円増加して7,765,055千円となりました。主な要因は現金及び預金が240,987千円、仕掛品が169,100千円増加し、一方、映像マスターが307,765千円、前渡金が103,300千円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ106,822千円減少して3,331,838千円となりました。主な要因は未払法人税等が108,126千円増加し、一方、買掛金が179,750千円減少したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ111,995千円増加して4,433,216千円となりました。主な要因は四半期純利益の計上等により利益剰余金が151,830千円、ストックオプションの行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ25,500千円増加し、一方、少数株主持分が83,737千円減少したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末と比べ240,987千円増加し、2,482,706千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、261,617千円(前年同期は524,522千円の増加)となりました。これは減価償却費が407,954千円、前渡金の減少が100,331千円となり、一方、たな卸資産の増加が210,732千円、仕入債務の減少が180,015千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、69,220千円(前年同期は654,703千円の減少)となりました。これは主に映像マスター等の有形固定資産の取得による支出が65,790千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は、46,873千円(前年同期は143,729千円の増加)となりました。これは主に株式の発行による収入が51,000千円、短期借入金による収入が30,000千円となり、一方、長期借入金の返済による支出が19,998千円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期通期の業績予想につきましては、第2四半期の業績及び今後の見通し等を踏まえ、平成25年7月16日に公表しました業績予想を修正いたしました。

平成26年5月期通期は、売上高6,604百万円、営業利益396百万円、経常利益399百万円、当期純利益283百万円と予想しております。

詳細は、本日別途公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,251,824	2,492,811
受取手形及び売掛金	1,022,168	1,081,358
商品及び製品	95,729	126,706
仕掛品	1,306,313	1,475,413
貯蔵品	7,412	7,218
前渡金	162,797	59,497
繰延税金資産	55,790	47,650
その他	52,578	24,838
貸倒引当金	△190	△430
流動資産合計	4,954,424	5,315,064
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	762,280	735,861
土地	838,506	838,506
映像マスター (純額)	668,382	360,617
その他 (純額)	50,349	50,786
有形固定資産合計	2,319,518	1,985,771
無形固定資産		
のれん	118,455	105,105
その他	20,661	12,408
無形固定資産合計	139,116	117,513
投資その他の資産		
投資有価証券	155,088	148,291
その他	205,069	211,688
貸倒引当金	△13,336	△13,273
投資その他の資産合計	346,821	346,705
固定資産合計	2,805,456	2,449,990
資産合計	7,759,881	7,765,055

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	625,360	445,610
短期借入金	300,000	330,000
1年内返済予定の長期借入金	39,996	39,996
未払金	412,260	329,239
未払法人税等	7,620	115,747
前受金	1,407,410	1,413,357
役員賞与引当金	3,981	3,984
返品調整引当金	58,900	64,363
受注損失引当金	36,917	9,182
その他	266,464	319,268
流動負債合計	3,158,911	3,070,748
固定負債		
長期借入金	219,184	199,186
退職給付引当金	35,037	35,257
その他	25,527	26,647
固定負債合計	279,749	261,090
負債合計	3,438,660	3,331,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	701,400	726,900
資本剰余金	1,842,569	1,868,069
利益剰余金	1,738,462	1,890,292
自己株式	△72,870	△72,870
株主資本合計	4,209,561	4,412,391
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	261	—
為替換算調整勘定	20,320	13,484
その他の包括利益累計額合計	20,581	13,484
少数株主持分	91,077	7,340
純資産合計	4,321,220	4,433,216
負債純資産合計	7,759,881	7,765,055

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
売上高	2,949,323	3,403,799
売上原価	2,542,021	2,820,075
売上総利益	407,301	583,723
返品調整引当金繰入額	—	5,463
返品調整引当金戻入額	5,400	—
差引売上総利益	412,701	578,260
販売費及び一般管理費	457,172	367,288
営業利益又は営業損失 (△)	△44,470	210,971
営業外収益		
受取利息	544	223
受取賃貸料	15,994	16,451
その他	2,688	2,762
営業外収益合計	19,227	19,438
営業外費用		
支払利息	3,185	2,616
為替差損	188	1,952
投資有価証券評価損	—	5,720
賃貸収入原価	11,931	11,942
その他	3,148	1,923
営業外費用合計	18,453	24,155
経常利益又は経常損失 (△)	△43,696	206,253
特別損失		
固定資産売却損	124	—
固定資産除却損	241	—
減損損失	—	7,385
特別損失合計	365	7,385
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△44,062	198,868
法人税、住民税及び事業税	2,871	117,438
法人税等調整額	28,040	1,060
法人税等合計	30,912	118,499
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△74,975	80,369
少数株主損失 (△)	△3,359	△81,010
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△71,615	161,379

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△74,975	80,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	94	△261
為替換算調整勘定	—	△6,835
その他の包括利益合計	94	△7,096
四半期包括利益	△74,880	73,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△71,520	154,283
少数株主に係る四半期包括利益	△3,359	△81,010

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年6月1日 至平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年6月1日 至平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△44,062	198,868
減価償却費	360,129	407,954
長期前払費用償却額	540	721
減損損失	—	7,385
のれん償却額	13,349	13,349
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△7,115	177
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△5,400	5,463
受注損失引当金の増減額(△は減少)	1,219	△27,734
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,581	3
退職給付引当金の増減額(△は減少)	245	219
受取利息及び受取配当金	△556	△247
為替差損益(△は益)	△1	△1,716
支払利息	3,185	2,616
投資有価証券評価損益(△は益)	—	5,720
売上債権の増減額(△は増加)	80,295	△59,080
たな卸資産の増減額(△は増加)	43,586	△210,732
仕入債務の増減額(△は減少)	△120,062	△180,015
未払金の増減額(△は減少)	19,359	△92,632
前受金の増減額(△は減少)	13,279	35,772
前渡金の増減額(△は増加)	241,500	100,331
未収消費税等の増減額(△は増加)	△7,764	4,842
未払消費税等の増減額(△は減少)	△15,392	11,016
その他	41,928	35,721
小計	614,681	258,002
利息及び配当金の受取額	556	247
利息の支払額	△3,183	△2,616
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△87,532	5,983
営業活動によるキャッシュ・フロー	524,522	261,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△648,527	△65,790
無形固定資産の取得による支出	△887	△1,323
出資金の払込による支出	△1,135	—
出資金の回収による収入	—	1,130
保険積立金の積立による支出	△2,302	△2,302
差入保証金の差入による支出	△2,838	—
差入保証金の回収による収入	1,028	—
その他	△39	△934
投資活動によるキャッシュ・フロー	△654,703	△69,220

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	30,000
長期借入金の返済による支出	△19,998	△19,998
株式の発行による収入	—	51,000
配当金の支払額	△5	△8,095
少数株主からの払込みによる収入	182,000	—
少数株主への配当金の支払額	△17,719	△2,923
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,208	△3,109
その他	662	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	143,729	46,873
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	1,716
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	13,550	240,987
現金及び現金同等物の期首残高	1,748,440	2,241,719
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,761,991	2,482,706

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年6月1日至平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作事業	出版事業	著作権事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	1,818,047	492,677	521,829	2,832,554	116,768	2,949,323
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,818,047	492,677	521,829	2,832,554	116,768	2,949,323
セグメント利益又はセグメント損失(△)	53,643	△73,851	9,557	△10,650	7,737	△2,912

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△10,650
「その他」の区分の利益	7,737
のれんの償却額	△13,349
全社費用(注)	△28,209
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△44,470

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成25年6月1日至平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	映像制作事業	出版事業	版權事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,011,439	526,476	726,124	3,264,040	139,758	3,403,799
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,011,439	526,476	726,124	3,264,040	139,758	3,403,799
セグメント利益又はセグメント損失(△)	139,649	△36,628	145,463	248,484	10,114	258,598

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、原稿(雑誌のイラスト)や商品販売等を行っています。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	248,484
「その他」の区分の利益	10,114
のれんの償却額	△13,349
全社費用(注)	△34,278
四半期連結損益計算書の営業利益	210,971

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。